

第2回北九州市スタジアム整備等PFI事業者検討会 議事要旨

日時	平成26年2月13日(木) 10:00~11:00	
場所	西日本総合展示場 新館303会議室	
出席者	構成員	竹下座長、内田座長代理、河邊構成員、羽田野構成員、南構成員
	事務局	北九州市市民文化スポーツ局スポーツ振興課
	その他	市委託業者(PFI事業アドバイザー業務)
配布資料	スタジアム整備に関わる建設費高騰への対応 検討会の開催スケジュール 第1回検討会議における構成員意見への対応 PFI事業者の審査、選定について 落札者決定基準(案)	

1. 建設費高騰への対応について

(事務局) 昨今の建設物価の高騰を受け、全国的に入札不調が増えており、1月末、国土交通省等から実勢を踏まえた適切な予定価格の設定等、公共事業の円滑な施工確保を図るよう指導があった。これを受け、当事業についても入札方法を一部見直したい。

予定価格は、入札公告(2月)の段階では、平成25年9月議会で承認された予算の範囲内とする。ただし、社会経済情勢が変化した場合は入札前に修正公告する旨を明記し、事業者に市の意図をお知らせする。

その後、まず提案書だけを5月末に提出してもらおう。構成員の皆様には、この段階で提案書の審査をしていただくことになる。一方、市議会で手続きをとり、社会経済情勢に応じた予定価格の修正が認められれば、予定価格の修正公告を行い、6月末に入札書を提出してもらおう。その上で事業者を決定する。

(構成員) 人件費高騰・資材の高騰は市内の噂になっているが、物価指標の公表値はそんなに高くないのではないか。また、契約後に物価が上がって、結局辞退ということにならないか。

(事務局) 物価上昇の公表数値と実態とでは開きがあるかもしれないが、議会・市民に説明できる指標で予定価格を設定しなければならない。契約に至れば、その後の物価スライドには契約書に定めるルールに則って対応する。

- (構成員) 5月時点の提案書の金額と6月の入札書の高額が違ふ場合は問題ないのか。
- (事務局) 入札書の価格がその時点で公表されている予定価格を超えると失格となる。入札書と審査済みの提案書の金額が違つた場合、どのように調整するかまだ決まていない。
- (構成員) そういふ事態が想定される中で、総合評価点の配分における入札価格点が高割は高いといふ考え方もある。しかし、行財政改革や市民感覚の問題もあるので、今の配分はやむなしかと思ふ。
議会对応も重要だが、この手続きの流れを報道関係者にも的確に理解してもらわないと、市民の誤解を招くことになりかねない。
- (事務局) 参考価格を示す場合は市議会に報告する。その場に報道関係者も入るので同じ情報が伝わる。その情報が正しく市民に伝わるようにしたい。
- (構成員) このよふな流れを参考にできる事例があるのか
- (事務局) 当事業は平成25年9月の債務負担行為設定から事業者決定までに時間がかかることが難しい点だ。普通は最新の単価で設計し、発注するのでこんなことにならないが、今回は制度上予算の枠取りが先行したため、上がり続ける建設費をフォローする必要があるが生じた。同じよふな例があるかわからないが、国の指導等を踏まえて対応している。
- (座長) ユニークな流れだ。PFIは公募を開始すると後は選定するだけだが、今回はヒアリング後に予定価格の調整をするといふことだ。PFI事業は提案してもらわないと何も始まらないので、そこは慎重に対応してもらいたい。今回の事務局の提案がベストと断言はしにくいだが、これしかないのかなと感じる。

2. 落札者決定基準(案)について

落札者決定基準の配点の修正は異論無く了承された。